

子ども支援教育部会

1. 研究課題

通常学級における児童生徒のニーズに応える教育的支援

2. 討議の柱（各分科会）

- (1) 通常学級における個別の児童生徒への支援
- (2) 通常学級における集団の中での児童生徒への支援
- (3) 通常学級における児童生徒を支援する連携

3. 研究協議会時の交流体制及び運営体制

(1) 討議の方法

前半（第1部）は、各分科会の研究テーマをもとに作成したレポートの交流を小グループで行い、研修を深める。

後半（第2部）は、事務局から校内教育支援センターとしての取組や今後の課題等について学校実践を紹介し、研究課題への理解を深められるよう働きかける。その後、各分科会の交流キーワードをもとに作成した小グループで交流を行い、さらに研修を深める。

(2) 分科会の構成

分科会	部会員人数	
	北：100名	南：131名
第1分科会	38名	31名
第2分科会	26名	49名
第3分科会	36名	51名

※分科会の所属グループについては、7月上旬、部会ホームページを参照してください

(3) 運営体制

① 会場

北：石狩市立南線小学校
南：千歳市立北陽小学校

② 当日の日程

- 13:00～13:30 受付
13:30～13:45 移動・説明
13:45～15:00 レポート交流（分科会）
15:00～15:10 休憩
15:10～16:10 テーマ別交流（分科会）
※北陽小学校、花川南小学校の話題提供（10分程度含）を聞いてからの交流とします
16:10～16:20 アンケート記入
16:20～16:40 整理委員会

③ 当日の役割分担

駐車場	各会場3～4名程度
受付	各会場3名程度
教室準備	部会役員

(4) レポートの扱い、部数、形式

① 実践交流レポートの作成について

個人で、必ず1部作成してください。A4版の両面印刷で、部数は各所属分科会のグループ人数＋7部です。左横に2穴を開けて、提出してください。

② 形式について

詳細は部会だよりでお知らせするとともに、テンプレートを部会ホームページにも掲載しますのでご覧ください。

4. その他

7月上旬、8月下旬に部会だよりを発行する予定です。研究協議会に向けたお知らせを掲載しますので、レポート形式や印刷部数等について部会ホームページと合わせてご確認ください。

（文責 宮本 優子）